

テニアン探検ガイド

所要時間：2～3時間

さあ、ブロードウェイ通りを北に向かい、

島の北半分を反時計回りに探検です。



「旧日本軍通信基地」



「ロングビーチ」



「ブローホール（潮吹き海岸）」

(1)長い坂道を登り、少し走ると「**テニアン空港**」が左手に見えてきます。小型機の離着陸を目の前で体感できます。フェリーでテニアンへ来た方は脚を運んでみては！

(2)空港を越えるとひたすら一本道が続きます。最初に見えて来るのが「**旧日本軍通信基地**」です。スクーターを止めて建物の北側を見てみてください。弾痕がいたるところに。

(3)「通信基地」から少し北に進んだ所に、右に曲がる細道があります。

「**ロングビーチ（ウナイ・ダンクロ小道）**」観光客の訪れない秘密のビーチです。砂利道なので運転にはくれぐれもご注意ください！ゆっくりゆっくり進みましょう。10分程進むと道が二手に分かれますからそこを左に。丘を下るとビーチが見えてきます。

(4)ビーチでのんびりしたあとは、再びブロードウェイに戻り北へ。「**NKK神社跡**」の大鳥居を左手にみながら北上し、戦没者の慰霊のためにアメリカ人によって建てられたといわれる

「**日の出神社跡**」に突き当たります。よく見ると神社の入り口にある筈の鳥居が神社の敷地の中に立てられています。

(5)「日の出神社跡」のロータリーを抜けて道なりに。次に目指すは観光名所「**ブローホール（潮吹き海岸）**」ここに行かなければ、テニアンに来たとは言えないほど、ほとんどの観光客が訪れます。潮の干満によって「潮吹き」の高さが変わります。こだわり派は満ち潮を狙って訪れてみては。

(6)「ブローホール」を背にして来た道を横切るように直進し「**ノースフィールド（エーブル滑走路）**」と呼ばれるB29が原爆を載せて飛び立った因縁の飛行場跡があります。現在でも、年に一度、アメリカ軍が演習に利用する滑走路です。演習期間外は入場フリー。最高時速を試そうなんてことはNG。すこし判りづらいですが、

「**原爆搭載碑**」と「**旧日本海軍司令部跡**」等が当時のままの姿が残っています。方向音痴の方は要注意！道に迷ったら、車の「わだち」やタイヤの跡をたどれば戻れるはずですよ。

(7)島の西側に出ると「**チュルビーチ**」。アメリカ軍が最初に上陸してきた海岸です。今はトーチカのみが残る穏やかな海岸です。沖縄ほどではありませんが「星の砂」の見つかる海岸です。手のひらについた砂を良く見てみてください。きっと見つかるはずですよ。メガネを忘れずに！

(8)北の探検はここまで。来た道に戻っても、そのまま進んでもサンホセ村に帰ってこれます。そのまま進む場合、空港拡張工事中で途中行き止まりがありますから、行き止まりの前に「**DETOUR（回り道）**」と書かれたオレンジ色で長方形の看板を見つけたら左に曲がりましょう。ブロードウェイに繋がります。無茶して進んでも通り抜けられませんよ！



「原爆搭載碑」



「旧日本海軍司令部跡」



「チュルビーチ」

(注) この「テニアン探検ガイド」では別冊「テニアン島ガイドマップ」の観光スポット番号と同じ番号を使っています。見比べながら探検するとバッチリ！！

テニアン探検ガイド

所要時間：40分



「空港から帰りの坂道」



「モービルガソリンスタンド」
(拡大マップ)



「タガハウス」(拡大マップ)

(9)島の北半分を探検し終えたらサンホセ村で一休み！空港から戻り途中の長い坂道を下り、最初の交差点を右に曲がって200mほどのところに島で唯一の“ソフトクリーム屋さん”があります。ソフトクリームを頬張る男の子(Frosty Boy)の看板が目印。テラスで一休みしながらミルクの効いたソフトクリームはいかがですか？

(10)そのまま道なりに進み、数十秒でサンホセ村の繁華街？を通り抜け、丘を下り始めるとフェリー乗り場が見えてきます。(途中で“モービルガソリンスタンド”が見えて来るので給油も忘れずに。水の買い足しも日差ししの厳しいテニアンでは重要ですよ！)フェリー乗り場に行く一本手前の路地を曲がると、そこには現住民族タガ王朝の遺跡「タガハウス」(拡大マップ)があります。ラティストーンと呼ばれ、当時の高床式住居の土台石だった石柱がそびえ立っています。北マリアナ諸島で倒れていないラティストーンを見れるのここだけ！必ず立ち寄ってくださいね。

(11)来た道を戻りながらサンホセ村の街並みを散策するもよし、ビーチ沿いを走り抜け、海に飛び込むもよし！3つのビーチを水着のまま周れるのもスクーターならではの楽しみ方！観光客の少ない「カマービーチ」。タガ王朝のプライベートビーチだったといわれている「タガビーチ」で飛び込み台に挑戦。立ちすくんじょう人も少ないとか・・・。

時の流れを忘れ、大自然に溶け込む。これがもう一つのテニアンの楽しみ方！さあ、あなたも信号の無いテニアン島であなただけの一日をお過ごしください！

メインビーチの「タチョンガビーチ」は出会いの場所。運命の出会いが待ち受けてるかも！？濡れた水着のままでもOK！走ってる間に乾いちゃいます。

(12)最後のスポット、テニアン島最南端の「スーサイドクリフ(バンザイクリフ)」へ向かいましょう。ダイナスティホテル前を通り越し道なりに左カーブ、最初の十字路を右に(南に)、あとは道なりに風を切れ！途中、サンホセ村を見渡せる見晴台があるので探してみよう。「スーサイドクリフ」についたら海面をじっくり観察してみてください。運がよければウミガメが出迎えてくれます。夢中になって滑り落ちないように気を付けて！

(13)帰り支度の前に海に背を向けて崖を見上げてみてください。穴だらけ絶壁に人の手で彫られたかのような猿の横顔が見られます。チャモロ人(地元民)の間では“モンキーロック(猿岩石?)”と呼ばれてます。見つけられるかな？

帰りは安全運転で、テニアンの風を思いっきり感じながらお帰りください。日本では味わう事のできない大自然と、潮の香りがからだ中に染み込んでゆくことでしょう。



「スーサイドクリフ
(バンザイクリフ)」



「見晴台」から一望できる
サンホセ村

(注) この「テニアン探検ガイド」では別冊「テニアン島ガイドマップ」の観光スポット番号と同じ番号を使っています。見比べながら探検するとパッチリ！！